

## 熊本県立荒尾支援学校進路便り

# わーく & らいふ

令和5年度第4号(通巻78号) 9月11日発行

本年度は、本校で学ぶ幅広い年代や学習グループごとに取り組む「キャリア教育」の実践についてシリーズでご紹介して参ります。今回は、中学部一般学級3年生が取り組む、職場見学の概要をお届けします。学習の目的や生徒たちの取り組む様子をどうぞご覧ください。

### 【シリーズ】キャリア教育 中学部一般学級3年生「職場見学」

中学部一般学級3年生は6月23日に総合的な学習の時間で職場見学に行きました。職場見学の目的は、卒業生が実際に働く場を見学することで、社会生活に必要な力、マナーや態度を学び、進路について考える機会にすることです。今年度、職場見学で訪問したのは、株式会社アントレ（就労継続支援A型）様、nicola（ニコラ）（就労継続支援B型）様、荒尾市小岱作業所（生活介護）様の3つの事業所です。今回はその時の様子などを中心にお届けします。

#### <株式会社アントレ>

車の部品作りやタオルたたみ、段ボールの組立などたくさんの作業を見学させていただきました。また、事前学習で考えてきた質問にも一つ一つ丁寧に答えていただきました。見学させていただいた生徒は「働く」というイメージをもつことができました。



#### <nicola（ニコラ）>

きゅうりの袋詰めや車の部品作りの様子などを見学させていただきました。きゅうりの袋詰めの際には、どのようなことに気を付けて作業をされてい



るかをわかりやすく教えていただき、「ここで働きたい」と感想をもった生徒がいました。

### <荒尾市小岱作業所>

利用者の方の一日の流れや農芸班と窯業班の作業内容などを、実際に作業風景を見せていただきながら説明をしていただきました。また、利用者の方が作られた苗や陶器なども手に取り、見せていただきました。



## ◆中学部3年生の職場体験を通して

職場見学を終え、見学をさせていただいたそれぞれの事業所の方へお礼状を書きました。そのお礼状の中には、感謝の言葉や見学させていただいた事業所でやってみたい作業内容以外に、「見学やお話を聞いてわかったことは、仕事をするにあたって規則正しく生活する事や忍耐力、悔しいと思う気持ちが大切だということです。」と自分自身の生活を振り返る内容が書いてありました。他にも、商品を扱う事業所を見学した生徒は「お客様の商品なので、失敗しないように工夫して仕事をする事の大切が分かりました。」と仕事への取り組み方を知ることができたことや、「ごめんなさい、を素直に言えるようになりたいです。」「笑顔で挨拶できるようになりたいです。」「働く体力をつけたいです。」など高等部卒業までの目標が書いてありました。

今回の職場見学を通して、生徒自身が今の自分に必要な力や仕事というものがどういうものなのかを考え、高等部卒業までの目標などを見つけることができたように思えます。また、中学部3年生は職場見学のあとに高等部見学や教育相談、三者面談などがあり、将来に向け、担任の先生や保護者の方と多くのことを話す機会がありました。将来についてたくさん悩むことがあると思いますが、今回の職場見学を通して得たものをこれからの進路選択に活かしてほしいと思います。

### <編集後記>

中学部一般学級3年生は、職場見学以外にも総合的な学習の時間に「進路ブック」という冊子を作成しました。生徒それぞれが進路先として希望する高等部のことを調べてまとめたものです。進学などに向け、しっかりと取り組んでいます。（吉村）



★進路に関する疑問・質問は上のQRコードからどしどしお寄せください。